

**同窓会会報**  
第70号

平成12年12月25日  
発行所 茨城県茨城郡  
内原町鯉淵5965  
**鯉淵学園同窓会**  
〒319-0023 TEL 29-29-2811  
振替口座 宇都宮3-1632 番  
印刷所 印刷  
印 葉 双 印

## 農民教育協会からの寄付金協力依頼について

同窓会長 高橋 隆 三

同窓会報六九号で「財団法人農民教育協会への寄付のお願い」が二瓶博理事長からありました。

多くの支部や有志から寄付金の目標や具体的要請が無く、取り組みにくいとの意見が出されております。

**寄付金を集めなければならない理由**

鯉淵学園は発足以来「特定公益法人」として所得税法及び法人税法の免税優遇措置が取られてきております。

その内容は、「教育事業」ではなく「調査・試験研究事業」として指定され社会に貢献することになっております。

この事業では取り組む課題の設定や結果報告を多くの人が活用することが要件です。このことについて鯉淵学園の先生方の努力によって様々な取り組みがなされ研究論文が各種の機関紙を通じて報告されております。

それを支え、継続するためには一般人

の協力が必要とされていきますが最近の行政指導で一般からの寄付行為が少なく指摘されました。このままでは二年毎の審査に不適合となり、「特定公益法人」の優遇措置が適用されなくなります。

**多くの人に支えられている調査試験研究事業**

特定公益法人の審査が2年毎に行われます。前回の審査で協会への寄付者が特定団体のみに固定されて、広く寄付を募るという特定法人の趣旨にそぐわないと指摘されました。このままでは認定が近いうちに取り消される可能性があります。従って集める金額ではなく参加する口数が必要なのです。少額でも結構です。皆さんの参加をお願いいたします。

寄付金は一口千円何口でも結構です。寄付申込先

財団法人農民教育協会

東京都北区西ヶ原一・二・六・一三

## 平成12年度 寄付金受領一覧表

11月22日現在

支部卒期	寄 付 者 名	金 額
神奈川 2	北 村 康 祐	10,000
愛 知 1	古 瀬 敏 雄	20,000
新 潟 2	北 条 定 喜	20,000
茨 城 27	鈴 木 利 通	50,000
広 島 11	門 藤 範 雄	80,000
大 阪 51	八 木 章 宏	5,000
埼 玉 49	針 谷 正 治	2,000
静 岡 14	平 石 五 雄	10,000
静 岡 23	新 関 八千代	10,000
静 岡 21	高 橋 紀久夫	10,000
静 岡 11	村 田 和 彦	5,000
熊 本 通 4	安 達 功	10,000
山 形 賛 助	北 山 利 三	50,000
沖 縄 46	宮 城 明 生	30,000
福 井 11	村 上 利 夫	10,000
秋 田 23	河 村 正 孝	10,000
栃 木 通 3	角 田 武 雄	30,000
東 京 17	住 吉 達 男	10,000
山 形 2	富 樫 良	5,000
埼 玉 2	奥 沢 袈裟雄	10,000
鳥 取 通 5	佐 々 木 清 訓	5,000

### 払込方法

農林中央金庫 大手町営業部  
口座種目 普通預金  
口座番号 〇〇二六六五〇  
口座名義 財団法人農民教育協会

鯉淵学園同窓会口座に振込まれても結構です。  
なお、寄付金受領状況は別表のとおりです。

## 来春卒業予定者への

## 同窓会説明会を実施

同窓会活動を理解してもらうため、卒業直前に学園長の特別講義を一コマ利用させて頂き実施しております同窓会説明会を、本年度は学園長の講義日程により九月十九日に実施、同窓会側からは高橋会長、倉重・山本両副会長と本宮事務局長が出席しました。

学園長から学園と同窓会の関係を、会長からは同窓会の実情、倉重副会長から茨城支部の活動状況、山本副会長から会報発行、事務局長が同窓会規約の説明に加えて終身会費納入の協力を要請しました。

## 応募状況と学生募集 協力をお願い

教務部長 安藤 義道

今年も入学シーズンが到来しました。昨今は学生募集を停止する短大は珍しくなく、四年制大学でも今春の私立大学入試では、実質倍率・倍率が四〇％で、昔に比べれば大学もすっかり広き門となりました。いまや高校生はこの大学でも欲しくて、金の卵扱いです。

このような状況下、学園でも学生募集にはこの二、三年苦戦が続いています。現在、入試は十一月の推薦入試に始まり、一月から三月まで一般入試を前期・中期・後期に分けて実施しております。今年も十一月十八日に推薦入試を実施し、合わせて四〇名の合格者を発表しました。これは、見多いうように見えますが、昨年に比べ一〇名の減です。最終的に入学した今年の一年生が九四名であったことを考えると、八〇名台は免れないところで

す。学園職員も夏休みを中心に、全国の高校百校余りをまわって、高校に学生募集依頼をしてまわりました。新聞や雑誌、インターネットやリクルートと、千万円近い学生募集費を投資しても既述のような厳しい状況です。まだまだ方法はあるのかも知れませんが、最大限の募集努力はするつもりです。どうか卒業生のみならずも母校存続のために、人でも受験生をご紹介下さい。どんな崇高な教育理念をもっていても、どんな優れた教師がい

ても、全ては学生が集まることから始まります。募集にご協力下さい。

### 受験生のご推薦、 ご紹介をお願いします

企画渉外 経営・流通コース  
科長 中島 紀一

願書締切は、一月十八日(前期)、二月二十二日(中期)、三月十六日(後期)ご連絡いただければすぐに募集要項などの資料をお届けします。

卒業生の皆さんからのご紹介、ご推薦については「優先入学制度」の特別枠が用意されております。鯉淵学園では人物本位の入学選考をしております。しかし、実際のところ受験生の人物評価はなかなか難しく、その点では出願した受験生の人物について良くご存知の卒業生からの推薦は学園にとってもっとも確かな安心です。「優先入学制度」の場合も、通常の受験生と同様に面接、小論文の試験を受けてもらいますが、合否選考にあたっては卒業生の推薦を重視、尊重することになっております。平成十二年度の入学生の中にも優先入学生がおりますが、それぞれ元気に学園生活を送っております。

もし、「優先入学制度」にご推薦いただける場合は学園事務部までご連絡ください。出願の様式などは、一般入学と同じですが、出願の際に卒業生からの推薦であることを明記していただきます。

## 緑のキャンパスに近代施設も 充実し学園生は元気です

同窓会からのご支援をいただいで鯉淵学園の教育体制は充実してきました。

五十周年記念事業で建設された図書館は学生図書委員の協力で毎晩十時まで開館され、学生たちのとても良い勉強の場となっております。

図書館の二階は情報処理室で、二〇〇一年からは学生に開放し、いつでもインターネットを利用できるようになりました。学園構内はすべて無線方式によるLANシステムが整備され、事務室、農場、全研究室のパソコンがネットワークで結ばれ、インターネットとも常時接続の体制が整いました。学園のホームページも、新され、農業者、受験生など学園外の方々とのインターネットによるコミュニケーションシステムも確立しました。

学生寮も充実されています。女子寮の整備を先行させ新寮棟、浴室、多目的ホールなどが建設され、今年度は男子寮の浴室の新設の工事が進んでいます。食堂では農場の新鮮で美味しい生産物の利用が工夫され、また生ゴミの堆肥化と農場等でのリサイクル利用の取り組みも開始されています。畜産農場の事務室も新設され、受精卵移植の実験的作業も着々と成果を上げつつあります。

広々としたキャンパスに近代的施設も充実しつつあり、学生たちは元気に学園生活を送っています。来年度も沢山の新生を迎えたいと思

いますので受験生のご紹介、ご推薦をよろしく願います。

### 〈募集定員〉

農業経営科学科(四年制) 八〇名  
生活栄養科学科(四年制) 四〇名  
(願書受付)

前期 平成十二年十二月一日  
十三年一月十八日

試験日 一月二十七日(土)

中期 平成十三年一月十九日  
十三年二月二十二日

試験日 三月三日(土)

後期 平成十三年二月二十三日  
十三年三月十六日

試験日 三月二十二日(木)

(前期、中期募集については四年制大学との併願制があります)

### 〈選考方法〉

両学科とも提出書類、面接、小論文についての総合評価

### 〈主な取得資格〉

卒業生全員に「専門上」の称号を授与  
農業経営科学科：改良普及員受験資格  
生活栄養科学科：管理栄養士受験資格、  
栄養士資格、改良普及員受験資格

### 〈設置形態〉

四年制農業・生活専門学校(茨城県知事認可)

農業者研修教育施設(農林水産大臣認定)

栄養士養成施設(厚生大臣指定)

## 次期参院選に『福島啓史郎氏』を推薦

平成十三年六月に行われます参院選に農民教育協会から推薦依頼をうけております『福島啓史郎氏』について、十月七日の常任委員会で協議した結果異論はなく、各種農業団体とともに推薦し後援会づくりのための署名活動をおこなうこととしました。

推薦理由はつぎのとおりです。

①今後、学園の維持発展には農水省の支援は不可欠で、福島さんは鯉淵学園を訪れたことがあり、「農蚕園芸高局総務課長」時代には大蔵省と折衝して、学園に対する補助金確保に努力されるなど、学園を最も理解している方である。

②福島さんが当選すれば、前回推薦して当選した日出さんと手を携えて学園を支援していただけるなど期待が大きい。

※後援会づくりの署名の方法及び署名簿の用紙等については、農民教育協会から直接、各支部長あてにお届けしてあります。

会員の皆様にはそれぞれ事情があることとは思いますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

## ○事務局からのお願い

振替用紙は全会員に封入しました。

終身会費納付者には不要ですが、年度会費及び協会寄付金納付の際にご利用ください。

この振替用紙を使用する際には、余白に○○年度会費○○円協会寄付○○円と分けて記入してください。

なお、年度会費は一、五〇〇円、終身会費は別表のとおりです。

終身会費納入区分表（平成10年4月から適用）

卒業期別	卒業年月別	金額(円)
1期～17期	昭和21・3～37・3	22,500
8期～22期・通1～通2	昭和38・3～42・3	25,000
3期～27期・通3～通5	昭和43・3～47・3	27,500
28期～32期	昭和48・3～53・3	30,000
33期～37期	昭和54・3～58・3	32,500
38期～42期	昭和59・3～63・3	35,000
43期～47期	平成元・3～5・3	37,500
48期～51期	平成6・3～10・3	40,000

鯉淵学園名誉教授

砂田義雄先生（5期生）著作の書籍が発刊

## 『学生と乳牛育てて五十年』

— 鯉淵学園農場運営の実践記録 —

砂田義雄 著

平成十二年十二月十五日発行

印刷・発行 旬双葉印刷

A5版 四三〇頁

書籍代 ￥二〇〇〇円

送料 ￥五〇〇円

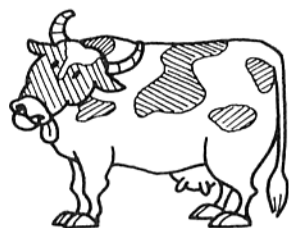
購入希望者は砂田義雄氏に直接連絡して下さい。

連絡先

茨城県東茨城郡内原町鯉淵

六一五六―一〇

電話 〇二九―二五九―四七二八



# 支部・同期の動向

## 支部だより

岩手県支部長 芳賀 正美(14期)

平成十二年岩手県支部総会が十一月十日(上)サンピア金ヶ崎に於いて同窓会本部から倉重副会長の出席をいただき盛大に開催されました。

総会冒頭に倉重副会長から鯉淵学園の近況及び同窓会活動の状況について報告がありました。

引き続き平成十一年度事業報告及び会計報告が承認され平成十二年度事業計



鯉淵学園同窓会岩手県支部 平成12年度総会

平成12年11月11日『サンピア金ヶ崎』

- 前列左から ⑬熊谷達男、⑭芳賀正美(支部長)、倉重一夫(同窓会本部役員)、④箱石正、④鷹野武、⑨小野芳男、⑨橋場輝一  
 2列目左から ⑨箱石和子、⑬留場栄一、⑮三浦邦雄(副支部長)、⑮岩淵斉、⑳佐藤功、㉑千田由春、⑨高橋利清  
 3列目左から ⑬菊池雄基、③佐藤節夫、⑪及川文雄、⑪菅野武彦、⑮上杉 三郎、⑲菊池博美、⑳川村晋運、㉑藤澤勝章、㉒細川隆造、⑦鈴木實  
 後列左から ⑭加藤謙次、⑭高橋貞雄、⑰斉藤裕夫(監事)、⑲吉田孝市、㉒高橋由一、㉓伊藤稔、㉔宮崎大平(茨城県出身)、㉕佐々木一夫

画及び予算も原案通り承認され、次期総会開催の幹事をきめ終りました。総会終了後恒例の記念写真を撮り懇親会に入りました。

自己紹介には3期佐藤節夫、4期鷹野武、箱石正の大先輩から29期の伊藤稔氏まで三二名の出席をいただきました。

席上同志の皆さんから30期以降から53期までの卒業生の出席を促す発言が多く出されました。

今後岩手卒業生の皆さんの出席をお願いいたします。

## 二十三期生福島大会

いわき市で盛大に開催

同伴者を含めて五五名が参加

二十三期生福島大会が十月二十八日いわき市小名浜スプリングスホテルで開催された。

翌日はゴルフと会津観光に分かれて楽しい一日を過ごした。

本部派遣・本宮事務局長



## 兵庫県支部総会

◆七月八日 一の宮町民宿『小松屋』

◆参加者 一四名

本部一名 住吉副会長

◆会議内容

①支部運営協議 ②学園の近況報告

③講話・懇談会

◆写真説明

前列左より

出口利彦⑲、橋本清伯⑥、加藤信二⑤、住吉達男⑱、正木浩二②

中列左より

大植 勉⑩、福井寛行⑳、加藤 整⑩、萩原一弘⑤③、富垣淳生⑱

後列左より

芦田靖司⑭、平岡泰正⑳、関口恵士②⑤、岸根秀明③⑥、武田憲人⑤⑩



# 支部だより

茨城県支部長 倉重 一夫

## 支部会費納入の願い

茨城に在住する卒業生は支部会費として毎年一、〇〇〇円、二年まとめて二、〇〇〇円ずつ納入いただいております。十一年度の総会に於いて一回で納入する終身会費五、〇〇〇円を決定していただき、逐次納入いただいております。振替用紙が入っていないとの問い合わせがありますので、多くの費用と手間がかかりますので郵便局の添付の振替用紙を

## 福岡県支部総会

平成十二年十一月二十五日開催

久しぶりの総会でしたが、一〇名の出席者があって各々これまでの仕事、活動や近況等の話はもとより、懐かしい学園生活に花が咲き、なごやかに時間のたつのも忘れて過しました。

次回開催については、規約では十月となっておりますが、諸般の事情を考慮して二月初旬が出席数もよくなるだろうということで、次年度から2月開催と決定しました。

### 支部新役員

顧問 村田 芳郎(3)  
 支部長 金高敏輔(8)  
 事務局長 三島守人(26)  
 幹事 香月二郎(42)

使用して下記に納入下さいますようお願いいたします。

口座番号  
 003701011927  
 鯉淵学園同窓会茨城県支部

納入者報告 ありがとうございます。

- ② 山崎 昭二 ⑨ 田所 守
- ③ 青木 敬 ⑩ 若林 均
- ④ 鈴木 利道 ⑪ 高橋 隆三
- ⑤ 倉重 一夫 ⑫ 本宮 好美
- ⑬ 山本 英治 ⑭ 工藤 徹郎



出席者 村田芳郎(3)、白山豊茂(22)、佐野治人(3)、森友重勝(15)、  
 西山芳(4)、坂井巧(5)、金高敏輔(8)、三島守人(26)、  
 香月二郎(42)、樋口稔幸(42)

※写真には、所用早退の白山氏は写っていません。

## 二十五期生

## 卒業三十周年同窓会の開催

二五期生同窓会が、内原町で十一月四、五日に開催されました。

学園祭にあわせた日程で計画したのですが、かえって三連休の予定を組んであった人が多かったため、残念ながら参加者は二六名にとどまりました。

当日四日は、学園祭見学、学園内散策、姫シャラ(夏つばき)の卒業三十周年記念植樹(前回の記念植樹が枯れてしまったので、その跡の同じ場所)を行いました。

会にきてくれたので、またひとしきり盛り上がった席になりました。

今回は、富山県の山本夫妻が夫婦で、鹿児島県の野上(旧姓垣内)イク子さんは、娘さんと二人のかわいいお孫さん連れで参加して、華を添えてくれたのは嬉しいかぎりでした。

今回は、群馬県にお世話になる予定ですので、その時合えることを楽しみにしています。  
 文責 根本

その後、同窓会会館で、砂田先生、西村先生を交えての近況報告に話はずみつつ、宿泊場所の内原町「湯泉荘」へ移動して懇親会。その席には、友部町の村上一郎君も顔を出してくれ、なつかしい顔ぶれとの話はつきず、一室を借りての二次会は十二時も過ぎてしまいました。

翌五日の解散前の朝食時には、春日悦子さんが



### 写真説明

一列目左から 山本(旧高倉)英子、厚海(旧阿部)多美子、渡辺(旧渋谷)芳江、保坂(旧白田)洋子、砂田義雄先生、野上(旧垣内)イク子、野上さん娘、孫二人、小金丸(旧泰)協子  
 二列目左から 齋田(旧山本)マサ江、椎名猛、蛭川(旧鳥居)京子、増子(旧吉田)容子、川口正伸、武藤一敏、高田秀子、松本(旧石沢)和恵  
 三、四列左から 黒澤賢治、川端志行、加藤尚、千葉幸二、鹿嶋幹雄、龍博志、菊池勝一、根本保夫、山本敬宜、荒川光男、小倉(旧青柳)恵子、児玉昭一



## 埼玉県支部総会

川越市 山崎 彰



鯉淵学園同窓会埼玉支部では、平成十二年十月二十九日に熊谷市平安閣において、同窓会を開催しました。当日は来賓として同窓会長であります高橋先生にご臨席を頂くとともに、県内の卒業生も二十九名出席し、懇親を深めることができました。

また次期埼玉支部長として二期生の永岡和明氏が選出され、次回同窓会を四年後に開催する予定となりました。

## 十七回を迎えた三期会の集い

### ミレニアムを記念し吉野ヶ里遺跡を探訪

平成十二年十月三日、四日、第一七回の三期会が佐賀県・嬉野温泉で開催された。今回の開催地は、前回の茨城県・つくば市と違って遠隔地で不便なことからどれだけ集まってもらえるか心配であったが、前日まで降り続いていた雨もあがり秋晴れの好天に恵まれ、全国各地から三々五々と参加予定の三七名（うち夫人七名）全員が元気な姿を見せた。

### 写真説明 ○印卒業期

前列右より

清川完司<sup>㉔</sup>、高橋忠彦<sup>㉒</sup>、斉藤(倉持)ともえ<sup>㉙</sup>、高橋会長、山崎彰<sup>㉓</sup>、柴田十四生<sup>㉑</sup>、礼木久子<sup>㉗</sup>、島崎光博<sup>㉕</sup>

二列目右より

江原ひで<sup>㉒</sup>、栗原純枝<sup>㉑</sup>、金子(小原)京子<sup>㉒</sup>、鈴木市郎<sup>㉓</sup>、角田喜重郎<sup>㉔</sup>、小野原菊男<sup>㉕</sup>、石塚保<sup>㉖</sup>

三列目右より

湯本達夫<sup>㉓</sup>、吉岡(吉沢)良子<sup>㉑</sup>、稲村道明<sup>㉒</sup>、峯岸幸司<sup>㉓</sup>、鹿沼一樹<sup>㉔</sup>、原弘信<sup>㉕</sup>、新井敏治<sup>㉖</sup>

四列目右より

早野公春<sup>㉔</sup>、西川直希<sup>㉕</sup>、吉岡孝行<sup>㉖</sup>、山崎幸夫<sup>㉗</sup>、高橋和一<sup>㉘</sup>、針谷正治<sup>㉙</sup>、石塚裕知<sup>㉚</sup>

初日の『グラウンド鳳陽』での総会では、錦上花を添えたご夫人参加のもと三二名の物故者への黙祷を捧げ、来年の開催地については四国地区を候補地として推薦、同地区代表の同意を得て四国地区に決定した。その後の懇親会では夜の更けるのも忘れて、友の健康を喜び合い、いつしか古き良き思い出の回顧談に花が咲くなど話題は尽きることなく盛り上がり、「いつまでも元気で美しい老いを」と誓いあいながら和やかなうちに車座が解けていく頼もしい姿は感慨深い思い出となった。

翌二日も、朝から晴れ上がり、絶好の観光日和となる。第一の観光地は、酒井田柿右衛門で代表される陶磁文化を鑑賞するため、九州陶磁文化館を訪ね日蘭交流四〇〇年を記念した特別企画展『古伊万里の道』を中心に伝統的な有田焼きの文化を鑑賞し、続いて有田館では最先端技術のメカトロニクスを組み込んだ世界初の陶磁器製のカラクリ人形による華麗な舞いを楽しみ、更に赤絵座の上絵付けを体験。第二の観光地、吉野ヶ里遺跡では、弥生時代の日本最大級の環壕集落を見ながら魏志倭人伝に記されている邪馬台国の世界に思いを馳せ古代ロマンに浸たり、四国での再会を誓いあいながらJR佐賀駅で解散した。

(佐賀・江頭記)

## 新支部長紹介

○福島県支部長

(新)五十嵐 竹男<sup>(23)</sup>

(旧)山本 学<sup>(13)</sup>

○埼玉県支部長

(新)永岡 和明<sup>(22)</sup>

(旧)山崎 章<sup>(23)</sup>

○島根県支部長代行

(新)勝部 誠<sup>(24)</sup>

(旧)竹下 盛雄<sup>(9)</sup>

常任委員

東京都支部 土方 貞信<sup>(16)</sup>

富岡 忠明<sup>(44)</sup>

静岡県支部 新開 八千代<sup>(23)</sup>

平成十二年十月七日開催の常任委員会において決定し、次回同窓会大会で追認を受けることとしました。

## 藍綬褒章

岩手県9期 橋場輝一

功績

昭和三十五年、新里村統計調査員を拝命以来、工業統計調査三二回、岩手県農林統計調査一八回、商工業石油等消費統計調査一三回、国勢調査八回、農林業センサス七回など、現在まで一貫して各種統計調査に取り組んでいる。さらに、担当地域への統計思想の普及にも尽力するとともに、精度の高い調査票づくりは、各種行政基礎資料の作成に多大な功績を残している。

堀端俊造氏（旧姓 吉 3期）

## 平成十二年度、外務大臣表彰に輝く

堀端さんは鯉淵卒業後、勸甘諸研究所に入所し、一年余りで農林省中国農業試験場に転出し、その後東北農業試験場、農業生物資源研究所に勤務されました。

この間一九六五年十二月から二年間、東パキスタン（現バングラデシュ）の農業機械化訓練センターで稲作指導、一九六九年から翌年迄、カンボジアの日力友好農業技術センターで稲作指導、一九七九年から一九八二年迄の二年五月、フィリピン国、カガヤン総合農業開発センターで稲作指導を行い、更に一九八六年から一九九三年三月まで六年九月に亘り、タンザニア、キリマンジャロ農業開発計画で稲作指導をされました。タンザニアではキリマンジャロ州名譽州民の証明書を受けました。又平成三年度、国際協力功労者として、国際協力事業団から感謝状を受賞しております。

今回の外務大臣賞受賞は国際協力事業団派遣専門家として、前記のようにアジア、アフリカ諸国に勤務し、「稲作栽培技術については豊富な経験を生かし、現地の自然条件、社会経済を充分考慮した技術指導を行うことで成果を挙げて開発途上国の農業開発に寄与し、国際技術協力の推進に尽力し、これにより日本と諸外国との友好親善に大きく貢献された」ことによるもので、本年七月七日に外務省で河野洋平外務大臣から表彰状を授与されました。

遠く祖国からはなれ、自然条件も厳しく、かつ生活習慣も違う途上国で献身的な努力をされた結果が高く評価された今回の受賞は、御本人の喜びはもとより同窓生の誇りでもあり、賞賛を送りたいと考えお知らせします。

（文責 遠山）

## 大潟村長（秋田県）に黒瀬喜多さん（20期）当選

今年の八月二十七日に投票が行われた大潟村の村長に黒瀬喜多さんが見事当選しました。ご承知のとおり大潟村は、全国の農村のモデルとして八郎潟を干拓してきた村で稲作中心の純農村です。

米を取り巻く環境が厳しいなかで、全国の農民が黒瀬さんに期待しています。

（黒瀬さんは元学園長鞍田先生の娘さんです。）



## 哀悼

### 鯉淵学園名譽教授石橋幸雄先生ご他界

去る十一月二十二日、内原町弥栄の自宅で石橋先生は九五才をもってご他界されました。

先生は、昭和二十一年四月鯉淵学園教授として着任以来、昭和四十九年七月に退職されるまでの二八年余の長きにわたって鯉淵学園の教育に尽力されました。先生の教えを受けた者の一人として、温和のなかにも厳しさをもちて説く先生の姿が昨日のように思い出されます。

十一月二十六日十三時、友部町のJAセレモニーホールにおいて告別式がとりおこなわれ、初代本会会長の小口芳昭氏（2期）、三代会長の萩原耕氏（2期）をはじめ多くの卒業生が参列しました。私も本会を代表して先生への感謝を告げ最後のお別れをしまりました。

心から哀悼の意を表し石橋先生他界のお知らせとします。

高橋隆三記

山形県支部	高橋 平 蔵(3)	平成十一年十一月	逝去
埼玉県支部	野 原 光 三(1)		
神奈川県支部	根 岸 久 雄(2)		
神奈川県支部	佐 藤 文 雄(7)		
山梨県支部	藤 原 正 仁(8)		
富山県支部	丹 羽 幸 雄(9)		
福井県支部	西 田 光 雄(研16)	平成九年七月	逝去
京都府支部	浅 尾 俊 郎(2)		
島根県支部	竹 下 盛 雄(9)		
愛媛県支部	越 智 茂 登一(1)	平成十二年五月	逝去
熊本県支部	高 木 重 成(10)		
宮崎県支部	熊 本 林 選 11	平成十二年八月	逝去
山形県支部	瀬 尾 彦 也(1)	平成十二年二月	逝去